

法 説 辻

法話三分會教師宗布洞曹手岩

言葉と笑顔で施しを

遠野市・曹源寺副住職 菊池 良行

私達は言葉遣いや会話によつてお互いを理解したり、心の状態を知ることが出来ます。更に相手の考え方や人格を変えさせることも出来ます。

このような言葉は、私達の生活に欠かせない重要なコミュニケーションの方法の一つです。けれども時として害になる場合もあります。

気心が知れているから、家族だから、または気持ちがいらいらしたり、気に入らないことがあつたりして、相手の気持ちを考えず、荒々しい言葉や、乱暴な言葉遣いをされた経験の一度や二度は必ずお在りのことと思います。

結果は、売り言葉の買い

言葉、状況は悪い方向へと、反省することしきり。ただし、時が経てば同じ事の繰り返し、この連続ではないでしょうか。

私達の生活は、多くの人々に支えられ生かされていると自覚することが大切ですが、その事実になかなか気付きません。

生かされている自分だからこそ、相手の心を大切に、慈しみの心を持ちたいものです。

慈しみの気持ちから発する言葉遣い、心遣い、そして常に笑顔の態度を心掛けてください。

相手を慈しみ敬う心はとりもなおさず、自分自身を高めることにもつながります。

乱暴な言葉や発言は自分自身を損ねてしまいます。

慈しみの言葉遣い、笑顔の態度を言葉の施し、「言葉」、笑顔の施しを「和顔施」といい、それぞれが相手の怒りや憎しみを和らげ、心を温める施しの基本になるのです。

自分自身を損ねることのないように、心して生活を行い、自分自身を更に高めていきたいものです。



曹洞宗岩手県宗務所
テレホン法話
 ☎ 0198-62-1121



心に残る
法話を
お聞き
下さい